

機関誌 つばさ

発行:認定 NPO 法人 よこはま成年後見つばさ

横浜市保土ヶ谷区星川2丁目2-5 TEL&FAX 045-744-5600 E-mail teamtubasa@yokohama.email.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/hama/tubasa/index.html>

発行日:2017年01月10日



2016 年度事業

- 2016.04.02 外出支援 お花見
- 2016.05.07 総会
- 2016.06.18 外出支援 あじさいの里
- 2016.06.25 担当者会
- 2016.07.24 たっちほどがや研修会
- 2016.07.30 第11回 NPO 法人後見連絡会(神奈川県社協)
- 2016.09.05 第一回指定課題検討委員会(星川自治会館)
- 2016.09.23 南区長に横浜市成年後見利用支援事業の改善要望提出
- 2016.09.29-30 日本財団フォーラム参加 (株)トライフ応援
- 2016.10.07 横浜市社協主催第1回よこはま法人後見連絡会参加
- 2016.10.08 つばさにおける障害者の相談・受任状況勉強会
- 2016.10.25 かみひこうき研修講師
- 2016.10.15 外出支援 コスモス見学
- 2016.10.18 むる茶@につば勉強会
- 2016.11.09 たちばな会講演
- 2016.12.10 市民公開講座
- 2016.12.17 外出支援 クリスマス会希望研修講師
- 2016.12.26 群馬県研修講師
- その他指定課題研究に関する調査、各種後見的支援プロジェクト等

理事長挨拶

特定非営利活動法人 よこはま成年後見 つばさは、これまで広報手段として、会員・賛助会員向けのメルマガとホームページを使ってきました。メルマガは4年5ヶ月続き、2016年8月1日まで通算 69号を発行しました。ところが編集を担当していた私(須田)が突然、胃癌を宣告されメルマガ休刊のやむなきに至りました。

今後は、メルマガに替えて「機関誌 つばさ」を年4回発行しようということになりました。

蛇足ですが、皆様も健康管理には十分気を付けてください。

2017年1月

NPO 法人 よこはま成年後見 つばさ 理事長 須田 幸隆

講演会・研修会のご案内

個別相談会

17年2月14日

大和市主催で講演会と個別相談会を実施します。

担当者養成講座

17年4月4日

第6回担当者養成講座を4月から9月まで開催します。

立上げ支援講座

17年6月10 17 24日

第1回法人後見実施団体養成・支援講座を開催します。



今年の外出支援

2016年は4月、6月、10月、12月の4回外出支援としてお花見、あじさいの里、コスモス見学会、クリスマス会を開催しました。

あじさいの里(6月18日)

この日、天気は真夏日和、瀬谷駅に午前11時に集合しました。参加者は総勢9名でした。まずサイゼリアで食事をし、あじさい見学へ向かいました。あじさいの里は市内でも知る人ぞ知るあじさいの名所です。素敵なお帽子をかぶって参加したAさん。人と交わるのが苦手なBさんも積極的に参加。足の悪いCさんも元気に歩くことができました。

コスモス見学会(10月15日)

久しぶりの秋晴れで絶好のハイキング日和でした。三ツ境駅に集合し、とんかつで腹ごしらえをし、瀬谷(追分)市民の森を目指しました。どんぐりを拾ったり、草花の名前を話したり、楽しいハイキングでした。車道を出たところで、目の前に赤白ピンクのコスモスが可憐に咲いていました。コスモスの中を散策しながら、思い思いに楽しみました。

厚労省指定課題研究を進めています

2016年度の事業として、7月に厚労省の指定課題研究の補助金を受け、調査研究事業を開始しました。9月5日には委員長を宮下京介弁護士にお願いし、第1回検討委員会を開催しました。厚労省専門官曾根さんも出席してくださいました。研究目的は「①成年後見制度の理解促進研修プログラムの開発、②法人後見における利益相反に関する対応の現状について明らかにする」ことです。10月からヒアリング調査を実施中です。3月に報告書を作成します。

市民公開講座「精神障がい者の支援」

12月10日(土)、星川一丁目自治会館で「精神障がい者の支援 精神科病院から地域へ」をテーマに市民公開講座を開催しました。旭区のPSWである横山秀昭氏の基調講演に続き、精神障害者への支援について、つばさ会員と当事者の親の立場である賛助会員にご登壇頂きシンポジウムを行いました。最後に、市内のグループホームの建設を断念させられた事件で、神奈川新聞の記事を引用し、「知的障害者が安心して暮らせない地域は、誰もが安心して暮らせる地域ではない。反対した住民にも、そのほかの地域住民にも、そのことに気付いてほしい」と結んだことを紹介しました。60名近い参加がありました。



市民公開講座